

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 A	
科目基礎情報							
科目番号		0101		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		環境都市工学科		対象学年	5		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		『SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENIG AND READIND TEST GOAL 600 4th Edition』(桐原書店) 教科書以外の教材、模擬テストなど					
担当教員		志村 幸紀,平山 規義					
到達目標							
1. TOEICの試験形式に慣れ、TOEICの各パートの問題に適切に対応する能力を身につける。 2. 職場や日常生活において、一定的確さと適応性をもって英語を運用できる。 3. 英語によるコミュニケーションにおいて必要な知識とよく使われる表現を習得する。 4. 英語運用能力を高めてTOEICスコアを伸ばし、世界で活躍できるエンジニアを目指すなど、将来の職務、研究の幅を広げる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安 (80%以上習熟できている)		標準的な到達レベルの目安 (60～79%習熟できている)		未到達レベルの目安 (59%以下しか習熟できていない)	
Reading		論文やマニュアルなど、自身の専門分野に関する文章を読み、その概要や必要な情報を理解できる。 (TOEIC Reading Section: 275以上)		論文やマニュアルなど、自身の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。(TOEIC Reading Section: 150以上)		論文やマニュアルなど、自身の専門分野に関する文章を、辞書を使っても理解することが難しい (TOEIC Reading Section: 150以下)	
Listening		自身の専門分野に関する内容について口頭で伝えられたとき、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。(TOEIC Listening Section: 275以上)		自身の専門分野に関する内容について口頭で伝えられたとき、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。(TOEIC Listening Section: 150以上)		自身の専門分野に関する内容について口頭で伝えられたとき、はっきりとした発音で説明されても、その概要や実験・作業の手順を理解することが難しい。(TOEIC Listening Section: 150以下)	
学科の到達目標項目との関係							
D JABEE D							
教育方法等							
概要		TOEIC L&R TESTの教材を用いて、必要な情報を正確に聞き取り短時間で読み取る能力の充実を図る。各学期にTOEIC L&R IP TESTを受験して、自身の英語力の把握と向上に努める。					
授業の進め方・方法		1) 授業内容：テキストに沿って演習を進める。 ①Listening Sectionでは、語彙問題、聴解、ディクテーションを実施する。 Part毎に解答と訳を確認しながら、音声を何度も聞く。 ②Reading Sectionでは、文法問題と空欄補充問題、長文問題等を実施する。 Part毎に解答と訳を確認しながら理解を深める。 2) 小テスト、課題等が課される場合がある。 3) 事後学習として、音声(ダウンロード可能)を何度も聴き、音読やシャドウイングをしてください。					
注意点		TOEIC TESTについて： TOEICとは、Test of English for International Communication の頭文字を取ってつけられた、英語を母語としない人たちのための英語コミュニケーション能力を測るテストの名称である。TOEICのスコアは英語運用能力の指標として国際的に活用されている。 IPとは、Institutional Programの略で、団体受験制度を指す。受験者にはスコアレポートが発行される。 TOEIC L&R TESTでは、Listening SectionとReading Sectionの各正答数が5点から495点の間の点数にそれぞれ換算される。スコアは、両方のセクションを合計して10点から990点までの点数で表される。 試験時間は2時間で、マークシート方式による。テストは200問あり、Listening Section とReading Section それぞれ100問である。 成績評価について： TOEIC(IP)のスコアは 各学期の中間試験の点数に換算する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Unit 1: Daily Life		シラバスの内容を理解し、TOEICの問題形式に慣れる。 Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		2週	Unit 1: Daily Life		Part 5, Part7		
		3週	Unit 2: Places		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		4週	Unit 2: Places		Part 6, Part 7		
		5週	Unit 3: People		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		6週	Unit 3: People		Part 5, Part7		
		7週	Unit 4: Travel		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		8週	中間試験 (TOEIC IP TEST)				
	2ndQ	9週	Unit 4: Travel		Part6, Part7		
		10週	Unit 5: Business		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		11週	Unit 5: Business		Part 5, Part7		
		12週	Unit 6: Office		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		13週	Unit 6: Office		Part6, Part7		
		14週	Unit 7: Technology		Part 1, Part 2, Part 3, Part 4		
		15週	期末試験				

		16週	試験答案返却・解答解説 Unit 7: Technology	Part 5, Part7
後期	3rdQ	1週	Unit 8: Personnel	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		2週	Unit 8: Personnel	Part6, Part7
		3週	Unit 9: Management	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		4週	Unit 9: Management	Part 5, Part7
		5週	Unit 10: Purchasing	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		6週	Unit 10: Purchasing	Part6, Part7
		7週	Unit 11: Finances	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		8週	中間試験 (TOEIC IP TEST)	TOEIC IP TEST
	4thQ	9週	Unit 11: Finances	Part 5, Part7
		10週	Unit 12: Media	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		11週	Unit 12: Media	Part6, Part7
		12週	Unit 13: Entertainment	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		13週	Unit 13: Entertainment	Part 5, Part7
		14週	Unit 14: Health	Part 1, Part 2, Part 3, Part 4
		15週	期末試験	
		16週	試験答案返却・解答解説 Unit 14: Health	Part6, Part7

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前14,前15,前16,後2,後4,後7,後8,後10,後13,後15,後16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前4,前5,前7,前10,前11,前13,後1,後3,後5,後6,後9,後11,後12,後14
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後2,後4,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後14,後15
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前14,前15,前16,後2,後4,後7,後8,後10,後13,後15,後16
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前15,後1,後3,後5,後6,後8,後9,後11,後12,後14,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前15,後1,後3,後5,後6,後8,後9,後11,後12,後14,後15

				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前14,前15,前16,後2,後4,後7,後8,後10,後13,後15,後16
評価割合						
		試験(TOEIC IP TEST, 期末試験)		平常点(小テスト、提出物)		合計
総合評価割合		60		40		100
配点		60		40		100